

スピーチテーブル「グロ」

ノルウェーの人々に「グロ」と親しみを込めて呼ばれる女性がいます。

1981年にノルウェー初の女性首相となり、政界への女性進出を強力に押し進めた功労者、グロ・ハーレム・ブルントラント、その人です。「持続可能な開発」という理念を提唱した「環境と開発に関する世界委員会」別名「ブルントラント委員会」のリーダーであり、2003年までWHO（世界保健機構）事務局長としても活躍しました。

1986年、再び首相の座に就いたグロは、閣僚18人中8人を女性にし、世界を驚かせました。その後、ノルウェーでは今まで男性の領域とされていた地位に女性が次々と進出。彼女のリーダーシップによって、“女性たちはできる”ことを世界に証明したのです。

彼女の自伝『Madam Prime Minister』は、『世界で仕事をするということ』（竹田ヨハネセン裕子：訳）というタイトルで日本でも翻訳出版されました。一人の女性として、4児の母親として、男性からの反発、息子の自死などに直面しながらも、逆風にたじろがず前向きに生きるグロ元首相の姿が描かれています。

スピーチテーブル「グロ」は、彼女をイメージして制作された芸術作品。ノルウェーの歴史や文化を女性の視点から捉えた展示を行っている「ノルウェー国立女性博物館」に所蔵されています。展示品としてだけでなく、演台としても活用できるようになっている点が特徴です。制作者はトーネ・ヘレルードさん（テキスタイル作家）です。

●『グロ』をご寄託いただいた経緯

グロ元首相の生き方に感銘を受けた女性たちが「女性をかづけるシンボルとして仙台にも！」と市民から寄附を募り、トーネ・ヘレルードさんに姉妹作品の制作を依頼。中心となったのは、ノルウェーの研究・交流を通して日本の男女平等実現をめざす「ノルウェーに学ぶ会」と、せんだい男女共同参画財団が2004年に主催した「ノルウェー・フィンランド男女平等政策研究視察」参加者の皆さんです。

市民の方々のご厚意とノルウェー国立女性博物館、制作者のご協力により、2004年10月、スピーチテーブル「グロ」の姉妹作品をせんだい男女共同参画財団へご寄託いただくこととなりました。以来、エル・パーク仙台に展示され、男女共同参画推進に向けたイベントに限定していますが、演台として市民グループの皆さんにご活用いただいています。

東日本大震災の翌年に開催された「日本女性会議2012仙台」では、グロ元首相からビデオメッセージが寄せられ、仙台の女性たちの大きな励ましとなりました。

グロ・ハーレム・ブルントラント 略歴 Gro Harlem Burundtland



- | | |
|----------|-----------------------|
| 1939年 | 4月20日、ノルウェー王国で生まれる |
| 1963年 | オスロ大学医学部卒業 |
| 1964年 | ハーバード大学にて公衆衛生の修士号取得 |
| 1974-79年 | ノルウェー王国 環境大臣 |
| 1981年 | ノルウェー王国初の女性首相に就任 |
| 1983-87年 | 国連「環境と開発に関する世界委員会」委員長 |
| 1986-89年 | ノルウェー王国 首相 |
| 1990-96年 | ノルウェー王国 首相 |
| 1998-03年 | 世界保健機構（WHO）事務局長 |

スピーチテーブル「グロ」を 貸し出します

イベントの司会台や演台として、「グロ」を使ってみませんか？

- エル・パーク仙台で開催する、男女共同参画推進を目的としたイベント等にご利用いただけます。
- 事前に申し込みが必要です。

申込・問合せ

仙台市男女共同参画推進センター
エル・パーク仙台 TEL.022-268-8300 (代)

